

-社内データ活用の一歩目を踏み出す-

初めてのデータサイエンス講座

(データサイエンティスト検定™リテラシーレベル準拠)

知識インプット
(DS試験対策)

+

豊富な
演習課題

=

データサイエンス
実践力

本講座は、初めてデータサイエンスを習得する方を対象としています。また、データサイエンティスト検定™リテラシーレベルのシラバスに完全準拠しているため、検定合格を目指すことができます。

01 DS検定シラバス に完全準拠

データサイエンティスト検定™リテラシーレベルのシラバスに完全準拠しているため、データサイエンスの基礎を習得できるだけでなく、検定合格も目指せます。

02 実践に即した課題 で実践力を養う

単なる試験対策に留まらず現役のデータサイエンティスト作成の実際のビジネスシーンを想定した課題にチャレンジする事で知識だけではなく実践力も身に付きます。

03 質問・添削 万全のサポート

学習内容に関する質問対応に加えて、課題については現役のデータサイエンティストによる添削付き。どのようにデータを分析すれば良いかをプロからアドバイスをもらえます。

受講形式

eラーニング

教材

- ・オンデマンド動画講義（約12時間）
- ・模擬問題
- ・データサイエンス実践課題

サポート

- ・質問対応
- ・課題添削

受講期間

180日間

岡崎大地 講師

PoCエンジニア、データサイエンティスト
Alanse株式会社（アランス） 代表取締役社長

トランスコスモス株式会社にて、AI（人工知能）やxR（拡張現実）などの最先端技術を駆使した新規事業開発に従事。その経験を基盤に独立し、DX推進を支援するAlanse株式会社（アランス）を起業。現在はSaaSシステム開発を中心に、デジタルマーケティングやデータサイエンス領域を含めたデジタル化戦略を総合的に支援する事業を展開。

カリキュラム

	イントロダクション	<ol style="list-style-type: none">1.この講座を通して何のスキルを身につけることができるのか2.講座の構成3.受講のポイント4.学習の進め方5.資料ダウンロード6.サポートリソース	6	データの収集と前処理	<ol style="list-style-type: none">1.データの種類2.データ収集の手法3.データの保存方法4.データのクリーニング5.データの正規化 (SQL、正規化)6.データの整備と品質管理7.セキュリティ注意点
1	データサイエンスとは	<ol style="list-style-type: none">1.データサイエンスの定義2.データサイエンスの歴史3.データがビジネスに与える影響4.事例紹介5.今後の展望6.データサイエンスの応用分野7.データサイエンスのツールと技術	7	機械学習の基礎	<ol style="list-style-type: none">1.機械学習の概要2.教師あり学習の基本3.教師なし学習の基本4.パーソナライズの手法5.予測モデルの応用6.ハイパーパラメータのチューニング7.モデルの評価指標
2	統計学と数字の基礎	<ol style="list-style-type: none">1.統計学とは2.記述統計の基本3.推測統計の基本4.確率と統計5.統計モデルの基本6.数学の基本概念7.データの記述と推測	8	KPIとは	<ol style="list-style-type: none">1.KPIの定義2.KPI/KGI/KPIツリー3.KPIと他の指標との違い4.KPI設定のプロセス5.KPIの活用事例6.効果的なKPIの設計7.KPIの監視と改善
3	基本的なデータ分析手法	<ol style="list-style-type: none">1.記述統計の基本2.データの可視化手法3.平均と分散の計算4.ビジネス指標の理解5.データの解釈6.分布の理解7.相関と因果関係	9	ダッシュボード活用	<ol style="list-style-type: none">1.ダッシュボードの定義2.ダッシュボード設計の基本3.各種データの可視化4.ダッシュボードでのKPI監視5.ダッシュボードの活用事例6.データのインタラクティブな表示7.ダッシュボードのカスタマイズ
4	定量的手法と意思決定	<ol style="list-style-type: none">1.回帰分析の基本2.回帰分析のビジネス応用3.分類モデルの基本4.分類モデルの応用5.モデルの評価と改善6.モデルの選択7.モデルのチューニング	10	ビジネスコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none">1.データストーリーテリング2.データプレゼンテーションのコツ3.効果的なデータ報告4.ステークホルダーとの効率的なコミュニケーション5.データに基づく意思決定の事例6.プレゼンテーション技術7.フィードバックの受け方
5	AIとは	<ol style="list-style-type: none">1.AIの定義2.AIの歴史と発展3.機械学習とAIの違い4.AIの応用事例5.AIがビジネスに与える影響6.AIの利点と欠点7.AIの倫理問題	11	データのプライバシーと倫理	<ol style="list-style-type: none">1.データプライバシーの重要性2.データ倫理の基本3.実際のケースとその対策4.法的規制への対応5.倫理的なデータ活用の事例6.データの透明性7.プライバシー保護技術